

研究計画書

<b>ゼミ名</b>	岡田ゼミ II	<b>チーム名</b>	OFA(OKADA JAPAN FOOTBALL ASSOCIATION)
<b>タイトル</b>	ヴィッセル神戸から目指す第二の都市		
<b>テーマ群</b>	g) その他		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p>テーマ：岡田ゼミのテーマでもある「神戸における国際交流」を通じて、兵庫県神戸市が大阪に並び、そして追い越すように発展を遂げるためには、どのようにすれば良いか、考察した。世界的に有名なサッカークラブチーム、ヴィッセル神戸を介した、神戸市の PR 戦略を提案する。</p> <p>背景と目的：神戸は東京、大阪と比べると国際的に知名度が低く、また平成 27 年度県民経済計算を見る限り、東京はもとより大阪と比べても、およそ半分程度の経済規模にとどまっている。インバウンド需要の観点から見ても、東京都、大阪府の訪問者数が 1000 万人規模であるのに対し、神戸市のある兵庫県の訪問者数は 200 万人弱である。なぜ、このように水をあげられたのか。一つは神戸という都市が外国人には物珍しく感じられないということである。神戸という街は日本人から見れば、北野異人館や南京町がある、異国情緒漂う魅力的な街であっても、外国人旅行者にとっては当たり前の光景に映るということである。しかし、神戸ビーフや日本酒を始めとした外国人受けするコンテンツも数多く存在するため、PR のやり方次第で大きくインバウンドを増やせるのではないだろうか。</p> <p>内容と成果：そこで近年、世界的にスポーツツーリズムが流行しているため、スポーツチームを活用することで地域社会に大きな経済効果を生み出すことができると思案した。昨年 FC バルセロナからイニエスタを獲得したことで、国際的にかなり有名になったヴィッセル神戸を介して、神戸市を世界にアピールできるのではないかと考えた。ヴィッセル神戸が神戸市の観光振興や経済発展に役立つと考え、大阪を超える日本第二の国際都市になるためのビジョンを提案する。</p>		